



金田町長が、3月議会定例会で令和4年度施政方針を説明しました。抜粋・要約して掲載します。町ホームページ「町長室」に全文を掲載しています。

「世界で一番住みたいまち」を目指して住み続けたいまち」を目指して

昨年は、町としては一昨年から続く新型コロナウイルス感染症への対策を継続する一方で、役場の機構改革や新庁舎への移転など、新体制での業務運営が始まり、外部環境としては、国の経済安全保障政策である世界大手の台湾半導体メーカーTSMCの町境付近への進出、空港アクセス鉄道の整備ルート案の再検討など、町の未来に大きく関わる動きが複数ありました。さらに、令和5年には南

阿蘇鉄道の「JR 肥後大津駅への乗り入れ、新熊本空港ビルや東海大学臨空校舎の完成なども予定されており、令和4年度は関連する企業の進出や町の人口の増加もさらに加速することが予測されます。

大津町が人口減少にある日本において、持続可能な町であるため、また、成長へと向かう町であるためにも、この一年が大変重要な年であると認識しています。

特にTSMCに関しては、既に町内においても新たな企業進出や宅地・集合住宅の開発などを模索する動きが急加速しています。こうしたなかで迅速かつ的確に対応していくために、町としても昨年、庁内に推進本

部およびプロジェクトチームを立ち上げ、工業用地や生活環境、渋滞対策などの想定される様々な個別分野に対して所管横断的に検討や取組みを進めています。

変化が激しい時代だからこそ、時には予算や戦略、戦術には柔軟性を持たせながらも、「町民参加と持続可能なまち」、そして「明るい未来の実現」に向けて、町民の皆様と今後の大きな方向性をしっかりと共有しながら協働して進めることが重要だと考えています。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

施政方針はこちら



## 令和4年度の具体的な施策

### 1 新型コロナ対策

#### ワクチン接種の推進

デジタルも活用した迅速かつ分かりやすい情報発信を行います。

#### ウィズコロナの体制を一層強化

非対面でも町や地域、団体、知人などにつながる一つの手段として、スマートフォンに不慣れな人への講習などのサポートを行います。



引き続き、感染防止策はもとより、年齢層、ライフステージや業種に応じた支援策を総合的に講じていくことで、町民の暮らしと健康を守るとともに不安解消に努めていきます。

### 2 命を守る徹底した防災・防犯対策

#### 防災無線の増設・移設

昨年度の音達調査をもとに、聞こえづらい地域に新設または移設することで、いざというときに防災情報が届くようにします。

#### 消防団の改革

消防団員の報酬を増額し、団の運営交付金を創設します。消防団への入団促進と地域消防活動を応援します。

#### 防災士の養成

菊池市、合志市、菊陽町と合同で防災士を養成する研修を始めます。地域の防災力の強化を図ります。

#### 防犯対策

2年計画で進めている街灯LED化。今年度は北部地域を実施します。また、カーブミラーや白線の新設・補修も引き続き、集中的に行います。



## 4 人生100年時代を見据えた福祉

### 民間の力を取り入れた健康づくり

国内スポーツクラブ業界大手企業の職員が役場に着任し、全世代に向けた健康づくりを進めます。大手企業のノウハウやブランド力を生かし、多くの町民の皆様が参加する仕掛けづくりを行います。

健康ポイントアプリも導入！

健康ポイントアプリは町ホームページをご覧ください▶



### ふくしの相談窓口の機能強化

障がい福祉に関する相談支援体制をさらに強化し、「ふくしの相談窓口」を充実させます。

### 退職後のセカンドライフの充実

就労的活動支援コーディネーターの役割拡充により、就労やボランティア、趣味などのセカンドライフの充実に向けた支援を一層推進します。

## 6 町内産業支援と活性化

### 農業の振興

鳥獣や病害対策に引き続き注力します。また、北部地域の圃場整備など農業の生産基盤の整備に取り組みます。



### 工業の振興

TSMCの進出の影響により、工場などの新設に向けた問い合わせが増加しています。適地調査や分析などを行い、工業団地整備に向けた検討を加速させます。



### 商業・観光業などの振興

中小企業・小規模事業者に対し、アフターコロナにおける下支えも見据えながら町内企業の維持活性に努めます。また、体験型の観光プランやスポーツ大会の誘致に取り組めます。



### 情報発信の充実

町の情報をより分かりやすく整理し、町広報やホームページ、LINEはもちろん、将来町の住民となり得る町外の皆様に向けても、情報発信を充実させます。

### 健全な財政運営

公営住宅の整備方針の再整理、その他の町有施設のより有効な管理・活用に向けても具体的に進めます。また、ふるさと納税をはじめ新たな財源確保も引き続き注力していきます。

## 3 子育て支援・教育環境 日本一のまちづくり

### 認定こども園の開設に向けて

ニーズや課題の複雑・多様化が進む中、新時代の子育て支援体制の確立に向けて、特に保護者の皆様への説明責任をしっかりと果たしながら丁寧に進めていきます。

### 学校施設の老朽化対策

大津中学校の大規模改修に着手します。

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、新時代を力強く生き抜く力を養いながら可能性を広げ、成長してからも郷土愛を持って大津町を支えてくれるような好循環を生むことを目指します。



## 5 活気とにぎわいを生む仕組みづくり

### 肥後大津駅周辺のにぎわいづくり

空港アクセス鉄道のルート案が再検討されています。中央公園にゾロ像が設置され、令和5年には南阿蘇鉄道の肥後大津駅乗り入れも計画されています。町民や観光客による賑わいと活気を生む動線づくりに向けて、ハード・ソフトの両面から取り組みます。

### 交通網の整備

中心市街地を回遊する新たな移動手段の導入を計画し、令和5年度に実証実験を開始します。

また、道路については、熊本市から大分市までを結ぶ中九州横断道路のうち合志から大津（杉水）までの工事が始まります。町内の生活道路についても渋滞緩和のため、新設・改良の検討を進めます。

### 歴史・文化をめぐるにぎわいづくり

新たな学芸員を配置し、国指定文化財の江藤家住宅をはじめ、町に点在する様々な宝の魅力をより多くの人に知っていただける企画や情報発信を行います。



## 7 町民に、より信頼され、愛される役場の実現

### 町民の暮らしの質の向上のために

町民サービス向上と役場業務効率化の同時実現のため、行政のデジタル化を進める計画（DX計画）を策定します。限られた人的資源のなかで、職員がより町民と向き合い、皆様の暮らしの質の向上に直結する業務に集中できる体制を作ります。